

～ おかげさまで浦添市水道通水50周年 ～

これからも安全で おいしい生命水を届けます



祝 浦添市水道通水50周年記念式典

浦添市の通水は、城間、屋富祖地域の350世帯へ給水開始をしたのが最初でした。昭和37年7月21日のことです。初の給水開始の日から各家庭に水を届け続け、今年で50周年を迎えました。

これを記念して7月4日（水）に「浦添市水道通水50周年記念式典および祝賀会」がてだこホールで行われ、関係者約200人が集まり、50周年の節目を祝いました。式典では水道事業に尽力された積洋一さんに表彰状と記念品が贈られました。引き続き行われた祝賀会は、浦添市文化協会のかぎやで風で幕開けし、劉衛流嘉手納由絵五段による演武、鼓衆若太陽の太鼓の余興もあり祝賀ムードが広がりました。

さらに会場では、水道通水50周年を迎えての思いを市長が自ら琉歌にして詠みました。



水道事業管理者として水道事業に尽力された積洋一さんを表彰

琉歌
通水ゆはじみ
いひいな五十年
すそんしゆな
平成二十四年七月吉日
浦添市長 儀間 光男 詠

意味 通水を始め
早いもので五十年
大切な水なるがゆえに
粗末にしないように

年	出来事
昭35	予算に水道設計費計上
昭36	水道計画の基本方針発表
昭36	水不足の住民に米軍が給水
昭36	水道事業を申請し、認可される
昭37	7月21日、城間・屋富祖に給水開始
昭38	大干ばつ、米軍人工降雨作戦実施
昭39	牧港・小湾に給水開始
昭40	内間・大平へ上水道延長
昭41	伊祖・大平給水
昭41	伊祖城跡にポンプ場完成
昭43	仲間配水池完成
昭43	全村給水
昭45	浦添村から浦添市に昇格
昭47	沖縄が日本に復帰
昭52	水道料金自動振替実施
平1	浦添市水道通水50周年
平1	浦添市水道通水50周年
平20	仲間増圧ポンプ場設置
平24	浦添市水道通水50周年
平6	沢岬配水池完成
平10	浦添市人口10万人突破
平13	水道料金コンビニエンス
平13	収納開始
平20	仲間増圧ポンプ場設置



てだこの「水」50年のあゆみ

浦添の水道通水前の生活

水道が普及する以前の浦添住民の生活は、湧き水や井戸水、または、タンクに溜めた雨水(天水)などを利用していました。

天水は、屋根に降った雨を樋を通してタンクに集めたものであったため、屋根の汚れやごみも同時にタンクに入り、ボウフラもよく発生していました。また、水を介して伝染病が広がることもあり、衛生面に問題がありました。

それでも、天候に左右され、安定した利用ができない水は、とても貴重なものでした。水不足に悩む浦添住民へ米

軍がトラックで給水をする
こともありました。

昭和35年、浦添村は水道設計費を予算に計上し、水道事業に取り組みと発表しました。

当時は戦後の人口増加や一人当たりの生活用水の使用量が増えていく状況で、慢性的な水不足でした。安全で安定的に水を供給できる「水道」を住民は、強く待ち望んでいました。

着工から3か月後、昭和37年7月21日の午前9時、当時の山城村長による開栓で、浦添村初の水道通水が開始されました。



安全・安心の水道水を届けるための水質調査

整備される上水道

昭和39年には、牧港、小湾へ給水を開始し、昭和40年には上水道延長や伊祖、大平への給水など、水道を利用できる地区は広がっていききました。

昭和41年には、伊祖のポンプ場や仲間配水池が完成し、急速に整備が進みました。この頃には、浦添の人口の90%に当たる人が水道を利用できるようになりました。水道通水開始から6年後の昭和43年には、浦添市内全域への給水を達成できました。

その後、水道整備を進め、市全域に安全で安心な水道水を安定的に供給できるようになりました。市では市民のみならずが安心して水道水を利用できるように、毎日徹しく水質チェックをしています。

水不足の浦添村民へ米軍による給水



水道開栓。全地区への水道供給の第一歩となる



水質項目	水質基準値	浦添市の水道水(H23年度平均値)
① 硬度	300mg/l以下	65mg/l
② 有機物	3mg/l以下	0.8mg/l
③ pH値	5.8以上8.6以下	7.5
④ 味	異常でないこと	異常なし
⑤ 臭気	異常でないこと	異常なし
⑥ 残留塩素	0.1mg/l以上	0.58mg/l

- ①：カルシウム及びマグネシウムの含有量。硬度の低い水は「軟水」で癖がなく、高い水は「硬水」で好み分けられる。マグネシウムが多くなると苦みが強くなる。
- ②：水に含まれる有機物の含有量。多いと渋味が増す。
- ③：水の酸性、アルカリ性の強さを表した指数。中性はpH=7であり、7より大きいほどアルカリ性が強く、7より小さいほど酸性が強い。
- ④：水の味。
- ⑤：水につく臭い。
- ⑥：水道水中に残存する消毒薬の塩素。

おいしい水のお話

おいしい水とはどんな水でしょうか。「おいしい水研究会」(厚生省設置)がまとめたおいしい水の要件は、個人差もありますが、平たく言うと「適度にミネラル分や炭酸ガスを含み、有機物が少なく、不快な臭いのない、10℃くらいの水」ということになります。

沖縄本島は石灰岩でできているため、井戸水や地下水は硬度が高くなります。水道が普及する前は井戸水や湧き水よりも硬度の低い雨水を食事に利用することが多かったようです。ちなみに、硬度が100mg/l以下の水のことを軟水といいます。

一般的に硬水は、味に苦みなどの癖があり、軟水は癖がありません。

浦添市の水道水は、左記の表のとおりで軟水に該当します。また、水質基準値を全て満たしており、安全でおいしい水だといえます。

問い合わせ 水道部 総務課 ☎877-4869